

第6回広陵町ごみ減量等推進審議会 議事録概要

■ **開催日時** 令和6年3月26日（火）午前10時～午前11時30分

■ **開催場所** リレーセンター広陵 3階 研修室大

■ **出席者**

<委員> 9人（欠席6人）

<町・事務局> 4人

■ **次第**

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 広陵町のごみ減量対策等の取り組みに関する諮問事項についての答申（案）について

4 その他

5 閉会 次回開催日の日程について

■ **配布資料**

会議次第 座席表 委員名簿

広陵町のごみ減量対策等の取り組みに関する諮問事項についての答申（案）

■ 議事内容

3 議事

- ・（１）広陵町のごみ減量対策等の取り組みに関する諮問事項についての答申（案）について

（事務局）

（以下のとおり答申案の説明）

それでは、議事（１）の「広陵町のごみ減量対策等の取り組みに関する諮問事項についての答申（案）について」を説明させていただきます。

前回の第５回の審議会でいろいろなご意見やアドバイスをいただいたことを踏まえ、事務局で変更させていただいた箇所（赤字で表記）についてご説明させていただきます。

初めに、答申（案）全体を通して、語尾等の統一をしている。

次に、２ページの「２ 基本的な考え方」について、大枠では変更は無いが、最後にSDGs未来都市に選定されているまちとして、SDGsの理念に基づいた持続可能なまちづくりをめざすためには、どうしていけばいいのかを記載させていただいている。

次に、５ページの「４ これまでのごみ減量に向けた取組や行動計画等への評価とその効果」について、広陵町のごみ減量化等の具体的な取り組みについて、前回の記載プラス実施してきた事項について追記している。

また、６ページ下段にグラフ「年度別生ごみ処理機補助件数及び金額」、７ページにグラフ「ごみ搬入量及び人口の推移」を追加し、これまでのごみ減量化に向けた具体的な取組による効果や行動計画等への評価について、明確な検証・分析を行っていないが、各年度のごみに関する数種類の値の推移と前回の答申で表された住民・事業者・行政の役割に対応して実行された内容を示している。追加として、「ごみ袋有料化に伴うごみ搬入量及び人口の推移【別紙１】」、「前回答申の役割分類毎の広報誌による啓発ベースで実行した内容【別紙２】」を示している。

次に、8ページの「自治基本条例の理念に基づき、町民のみなさまと共に町の環境対策の一つとして今後のごみ減量対策への取組、ごみの分別種類の選定及び収集方法について」、9ページの今後のごみ減量対策への取り組みとして、「住民」・「事業者」・「行政」三者の協力が不可欠であり、それぞれの役割と責任について、「ごみ減量に向けた 住民・事業者・行政 役割相関図【別紙3】」にまとめた。

次に、ごみの分別種類の選定については、現状の分別種類を記述しており、広域施設稼働後の分別種類について変更点の記述をしている。また、収集方法についても全てのごみ収集は、戸別収集に変更する方針である旨を記述している。

最後に、資料として松戸市の雑紙分別のチラシを参考に添付させていただいている。

(会長)

前回の審議会で第5回目はやはり、8ページの5番目の自治基本条例の理念に基づき云々というところを途中で終わった。今日は最初の「初めに」というところから少し振り返りながら全体的な答申案の中身を議論して進めていきたいと思う。特に後半のところSDGs、というものを基本に置いた答申で行こうではないかという事務局からのご提案である。

2ページの最後のところ、広陵町においては、SDGs未来都市として国に選定されたということが非常に奈良県内でも珍しいというところであるので、SDGs未来都市に選定された広陵町として、この問題をSDGsの中からどう読み解いていったらいいのかということが今回出されているかと思う。

基本的な考え方に基づいて議論をしてみたいと思う。内容だけではなくて、もし可能であれば、1字一句のご指摘でも構わない。できるだけ完成した形で進めてみたい。

(委員)

図表で、マークがついてるフォント枠が無いものが含まれていて、5ページまでは枠があるんですけど、7ページ以降はちょっと薄い枠がついているものもあるので、枠は全て消されたほうが、統一という意味ではわかりやすいかなと思う。

(会長)

基本的な考え方というところをお願いします。

(委員)

11ページから天理市の事例で、なぜ天理市なのか近隣なのかあるいは全国的なのか、なぜそこで天理市が出てきているのかというのが、これまでの議論があったのかもしれないが、唐突感というか、今回の広域施設の稼働に合わせて戸別収集に変更されるところであるが、なぜそうするのかは丁寧に説明された方が良いのではないかと思った。

(会長)

11ページのところでなぜ天理市がというところを事務局の方で説明していただければと思う。

(事務局)

リレーセンターは15年で稼働を止めるというところで、次の施設を協議していただいている中で、天理市の方から、10市町村で広域でやらないかというお勧めがあり、天理市というのは入れさせてもらっているけども、本施設は天理市の方で、今建設されている。

唐突であったと思うが、経緯をどこかに説明を入れさせていただいたら良いと思う。

(会長)

来年の5月に実際に天理市のリレーセンターの稼働が始まる。

広陵町も参画しているので、天理市のその他との関わりというか、兼ね合いというものがおそらく事例として出てきたのだろうと感じた。

(委員)

令和6年からということで、先ほど、会長おっしゃられた2ページのところで共同で、その期間に衛生組合の中の中心に天理市がいて、その天理市の中にこの施設ができるってということで十分理解できた。11ページのポジションというか、「下の図のとおりです」と書かれているところに「なお」

と書いてあるので、なお書きというのは通常だというプラスアルファというか、そういう言葉を繋ぐものになっているのはどういうことか。今の説明だと「これからどういうふうになるので、変わった後の流れはこうなっていますと、天理市に設置されるから天理市で」とここに書かれていると思うが、実際新しく稼働すると、この広域化衛生組合さんの方でこれに手を挙げたところはみんなここで行っていくということで、この各町ごみ収集車っていうのが書かれているので、天理市にあるっていうことだけで、何かその天理市がやっているところというような誤解がないか。

施設自体は天理市にあるけれども、みんなで広域でやっているところで、こういう施設での稼働になりますよという説明だと思うので、そのあたりは誤解のないように文章を工夫されたら良いのではないか。

(会長)

天理市の中に入っていくというのではなく、天理市も含めた広域でやるという視点で文章を変えた方が良いのではないかというご意見である。

「天理市での」も多分カットしても良いと思う。

「広域施設稼働後」という言葉があれば稼働後こうですよという形にもできるし、事務局の方で、文章的なところを練っていただければと思う。

(部長)

おっしゃるとおり私達が一番心配しているのは、天理市に行けばそのごみの減量化は極端に言えばしなくてもよくて、それはこの場所で処理をしてもらうという誤った考え方が広がっていくことになってしまうということ。ご指摘のとおり、そういうニュアンスにとられる可能性があると思う。我々はもう既に天理市でということで事務を進めてきたので、こういう表現を当たり前に使ったことについて、改めて誤解のないようにしたいと思う。

(委員)

我々町民としたら、天理市に決まったときのやっぱり決定事項がいろんな面があると思う。

この広陵町のクリーンセンターの稼働は15年という期間限定で言われている。スタートしたときから、次のごみの処理をどうするかというのは、町自体、また議会もそれぞれ含めた中で検討して決定し、天理市が手を挙げられたときに、広陵町の議会や市町村は手を挙げて共にやっていくという形で決まったという経緯と聞いていて、それを事務局がもっとはっきりと出していったらよいのではないか。

(会長)

そういう意味でも主体的な形で表現してもよいと思う。

2ページ3ページのところは基本的に、おそらくこの赤で示された強調されたSDGsに基づく方向性は特に問題ないと思う。

文字のところでおかしいなというところがあればご指摘いただければと思う。

(委員)

言われたとおり、最後の3行目、「行政・事業者・町民それぞれが主体となって」という文章になっていることについて、表現は事業者についてはこれで結構であるが、我々一般町民は、中々この文章だけでは理解しにくいと思うので、もっと住民に対しての周知徹底を具体的にどのようにするかもう一段、町民に対しては、広報、ホームページ等、いろんな点で周知徹底を図るということをしないと、業者だけでやってしまったら、事務的に慣れている人はよいけど、一般町民にはわかりにくいので、ちょっと検討していただければと思う。

(会長)

基本的な考え方で、具体的な形を入れた方が、わかりやすいという指摘と思う。実現のところの4つ目の文章のところ、「資源循環型社会」というのは、この後ずっと、「型」という言葉が付いている。

「循環型」の「型」が、ずっとこの後続いているので、2行目のところの「資源循環社会」に「型」を入れておいた方が統一感があると思う。3行目の「進められています。」というのがあり、最後「られています」とあるが、何か、他人ごとな表現である。「られ」も取った方がよい。「この計画では

こういったことを進めています」と言う方が、「進められている」のではなくて、全て「います」と言う方がよいのかなと思う。

グラフから3行目の下のところから「今後の排出量・処理分量を予測し」を入れた方が良いし、「処理分量を予測し、排出抑制に」とした方がよいけど、一番最後下から2行目、「ごみ中継施設として活用するように」と、「に」を入れた方がよいと思う。

「SDGsに選定されている町」ではなくて、既に選定されている訳なので、「広陵町はSDGsに選定された町として」という方が文章としては流れがよいのかなと思う。

先ほど委員がおっしゃったように最後の3ページの最後の3行にあるが、終わりの方ということが具体的な分類の方ではないことをチェックしていく他に、「また」ではなくて、「ために」ということで「そのため、行政事業者そしてここに町民」とあるが、それ以降は全部、住民という言葉で統一されているので、ここは「町民」ではなくて統一するとしたら、「住民そのため行政事業者、住民、それぞれが主体となって」、そして最後「極めて重要です。」ということであるが、「そういうことが重要となっています。」という表現が何かすっきりいかないかなというふうに思う。そこを調整していただくと、この赤の文字は消えて黒の文字で統一されてもこの基本的な考え方としてはよいのかなというふうに私は思った。

基本的にこの基本的考え方の中では、奈良県として珍しいSDGs未来都市に今設定されている広陵町としては、当然SDGsに基づくごみ減量化問題を考えていくということでは、基本的な考えとしては、最もよいと思った。

(委員)

最初会長がおっしゃったように、に「られています」とか、「されています」というような関係のご指摘について言えば、次のページ以降も「されています」とか、あとこの2ページの中でも大体3分の1ぐらいのところに「広陵町廃棄物処理計画がいわゆる年度に策定されています、策定しています」とか、これはもう編集のところで「されて」いるとか、「られて」というのを一括でご確認された方が早いと思う。

(会長)

最後の行政・事業者・町民それぞれがっていうところでは、一番大切なメッセージに当たるところかと思うけれども、町の総合計画などでは、この町民・住民の方っていうのは、一般的にはNPOとかあと地縁団体、子供会とか婦人会とか自治会とか商工会とか、いわゆる団体も含めて、町民であったり住民であったりっていうことで、個人はもちろんのこと、様々な地域にあるユニット団体もそれぞれ頑張りましょうみたいなことが共同のときには謳われているケースが多いと思うが、こちらの広陵町の住民・町民の定義がどうなっているのかというのをご確認いただいて、実際は子供会とか婦人会とか、青年会とか消防団とか地縁団体だったりとかも様々な関わりをしながら、よりよい、出し方とか減らし方に協力していただいていると思うので、そういうところにメッセージを送るというか、そういった地縁団体とか、地縁団体も含めた住民とか、あるいは何か総合計画の中の住民の中にはそういった地縁団体が入っているということがあり、何かそういう三つが入っているみたいことがあれば、イメージしやすいのではないかとということで、文章がこれ以上出せないということであれば、イメージが共有できる何かメッセージがあった方がよいのではないかと思う。

(会長)

他のところではほとんどない表現を使っていて、また別に補足的な部分があれば、そういうことも含めてこの中で、入れておくと統一性があるのかなというふうなそんなご意見であると思う。チェックをお願いしたいと思う。

(部長)

イメージは共有できる何か図表というか、その中におっしゃっていただいた個人だけじゃなくて、いろいろな事例として頑張っていたらいい団体の方々も入れて、よりわかりやすく、言葉だけで足りないものはそういう形で補足したいと思う。

(委員)

条例、ここにある基本計画の中で、この行政・事業者・住民それぞれの責任というのがバラバラで、整合性をちょっと取られて表現をまとめていただけたらよいと思う。

(部長)

一般廃棄物の基本計画という一番大元になる計画がある。整合性はまだ十分できてないところがあると思うので、改めて整合性をとりたいと思う。

(会長)

5ページ目の要望について、3ページも先ほど御指摘あったように、誰という言葉、少しよくチェックされた方がよいのかと思う。

あくまでも主体は広陵町なので、その表現よろしくお願ひしたい。

5ページ、6ページ、7ページの4番のところには何かご意見ご質問があれば、お願ひしたい。

(委員)

5ページの下から5行目6行目のあたりから、「施設見学を積極的に受けるとともに、ごみの分別や減量について学んでもらおうと、町内の小学校」とあるが、「学んでもらおう」と平易な言い方だけでも、例えば「先に町内小学校4年生を対象に、ごみの分類や減量についても学びを深めるため、施設見学が毎年実施されてきた」とすればと思う。

元々4年生の学習ガイドラインにある。その学習を深めるという意味で、計画を実施しているものであるから「学んでもらおう」という言い回しがちょっと違うと思う。

(会長)

どこの学校でもそういう授業として一環としてあるので、施設あるいはそういったところ、学校側が見学とかで行っている。そうすると、これは学校側の意向であってこちら側はやっぱり、学んでもらうということも必要であるし、それに積極的に関わっていくということが大事な視点だろうというふうに思うので、今ご指摘があったように学ぶためにというところをしっかりと表現していった方がよいと思う。

私も「される」というところがずっとあるので、そこが気になったので、そこはお願いする。

5ページの2行目3行目、「近年の経済発展や新たな技術の開発や新素材の」、「や」が続きますので、どこか例えば「技術の開発」の後、点でもよいので、そのような形で「や」が続かない形でお願いしたい。「我々の生活」というのはむしろ「私達」の方から今風かなと思う。

それから1、2、3、4つ目の学ぶというか、その文章で、3行目のところ、「実施されています。」のところ、これは「当町ではこういう形、排出抑制だとかを有する仕組みとして、こんな有料化を実施してきました。」というように、「います」より「今までしてきました」という方が、流れの中の表現としてはよいと思う。

「広陵町の現状等の具体的な取り組み」というところから始まる文章と、2行目、「分別の徹底によるごみの資源化や」ではなくて、流れからいくと「ごみの資源化、として集団回収への協力等について」と、ちょっと文章が長すぎて、句読点を入れた方がよいと思う。

赤で示された部分、追加されたというか変更された部分、ここはより良い形で来ていると思う。先ほどの小学校4年生云々という表現について、しっかりと表現していただければ、よいなというふうに思う。

(委員)

計画は「何年度」って書いているところもあれば、「何年に」と書いているところもあり、年、年度っていうのを書き分けてらっしゃるのかどうか分からない。まずそちらの方は統一された方がよいのかなと思うので、この法律は年度というより、年の方が良いのではないかなと思う。

例えばその事業展開されているのであれば、年度の事業であるのかなとか、表記の揺れ、先ほどの2ページ、3ページ目も年度に策定されているけど、年に策定されたとか、そのあたりの表記の揺れを、何かルールに基づいて書き分けられた方がよりわかりやすいのではないかなという風に感じた。

6ページの上から1行目について、その三者の並びが住民・事業者・行政になっているが、2ページのところは行政・業者・町民というのが町民を住民にしようとしたり、3者の書きぶりも表現を再度ご確認いただいた方がよいと感じた。これは答申をいつ出すかにもよると思うが、このごみ搬入量および人口の推移は、令和5年度のデータは出すのは難しいのかなとか、人口は出ると思うけれども6ページの方は令和5年度まで金額も出ているので、令和4年度が最新であれば、結構であるけれども

も、答申出す段階で、最新のデータまで入れていただいた方がより良くなるのではないかと考えている。

(会長)

年度と年としっかりと使い分けられているのであれば結構だと思うが、どちらなんだろうという部分もあるので、もう一度チェックしていただければと思う。確かに年度で言えば4月から翌年の3月までということであれば良い。しかし、何年何月の場合は年度ではなくて年月の方がよいだろうと思うが、なかなかわかりづらいので、そこはしっかり統一していただきたいということである。

グラフのところの平成5年度のデータがあれば最新の情報として、記載できると思う。事務局の方でもご検討いただければと思う。

(部長)

最初の答申の時期とも関わるけれども、ごみの搬入量等はできるだけ令和5年度の最新のデータでいきたい。

(会長)

4番目の5ページから7ページまでの中でご意見があれば、いただきたいと思う。

(委員)

一字のちょっとした間違いだと思うが、7ページの米印で、答申の役割を分類毎の「広報誌」は「紙」になると思う。ここでは言偏に志になっている。

(部長)

「広報誌」は役場の方では「紙」の方を使っているのではないかと思う。言偏の方の「誌」になるのかどうか、もう一度再確認する。

(委員)

5ページ3行目、「行われてきました。」というのは何か客観的に外から言っているのかなという感じがするのはっきりと「行ってきました」という、主体者で表現して良いかなと思うが、何か非常に遠慮したような表現である。

(会長)

今のご指摘非常に重要で、何だか人ごとのような表現がちょっと目立ち、主体的にうちこうします、こうしてきましたという表現で、少し全体的にチェックしていただければと思う。

次の5番目の8ページ、9ページ、10ページ、11ページで改めて全体を、特に赤字で示されているところをチェックしていただきながら、文章表現方法としても何かお気づきのところがあれば頂戴したい。

(委員)

5番の「自治基本条例の基本理念に基づき、町民の皆さんとともに、町の環境対策の一つとして」というところで、この答申非常に上手にまとめていただいて、これは見やすいのかなと思うところであるが、西宮市は令和5年に分別を開始して、その中でCO2二酸化炭素を減らすごみ袋が採用されて、プラスチック使用料・CO2二酸化炭素を20%減るという素材を使っている。

広陵町の方は、今現在、新しい素材で、技術があるので、これに変えていくぞということで、あるいは、追って実行するとか、その辺があれば、町の環境対策の一つとして前に立ち上げたら、インパクトがあると思っている。

やはり分別が減量に繋がるということは、どこでもこういうふうにあって今表現で使っているので、今後とも、分別は減量に繋がっていきますよというところをもうちょっと強く推して欲しいと思う。

先ほど冒頭にご指摘のあった、天理市という表現について、これ10ページの下から3行目、また11ページの上から4行目、同じように「天理市では」という表現があるので、ここも合わせて、修正の方していただければと思う。

(会長)

ここも特に分別が減量化に繋がるということが非常に大事な部分で、このところもう少し何かいろんなところで表現されていくとよいのかなということである。

天理市との兼ね合いみたいなところをもう一度しっかりと広陵町として強調された方がよいのかなと思う。

(委員)

タイトルだけ減茶苦茶長く、思いがこもっているのはわかるが、多分このタイトルは今後のごみ減量対策への取り組み、ごみの分別種類の選定および収集方法についてということではないか。おそらくこの前の減量化をすごく強調したいところであれば、この後の一番後ろに、例えば以上のように自治基本条例の理念に基づき町民の皆様とともに、云々っていうのを言っているとか、あのタイトルで頭出しするにはちょっと長すぎるという気がするが、これはすごく大切なことだから、それを文章の方で最後に十分謳うとか、削除するのではなくて、その文章の中にちょっと踏み込んだ思いがある文書だと思うので、ちょっとご検討いただいたら良いのではないかなという感じがした。9ページ目の1行目の住民・事業者・行政はカギ括弧が付いているので、この辺りも先ほどの順序に合わせて表記し、点なのか中黒なのか鍵括弧を付けるのか、付けないのか、順番をどうするのかというところを全体を通じて再度ご確認いただきたいと思う。

9ページの下から5行目ぐらいで、10ページにも繋がるが、まず表記として、水切りをしたら、年間約50tものを書いていて、すごく減るっていうことを言いたいのはわかるが、ちょっと客観的な表現に徹していただいた方が良いと思うので、50tのごみは減量できるというのは、すごい強い思いが入っているが、客観的な表記に徹せられた方が良いのではないかなということで、「も」を取ることを提案したい。

今回のところは、広陵町ではということで、広陵と名前がついているが、このあたりから、町全体でとか、次の10ページ目の赤くプラスしていただいているところも、「町は、町の」ということで、そこまでは比較的「広陵町では」みたいな表現であったが、この辺りからちょっと省略した表現に変わってきているので、「町」で統一するならそれでも結構であるし、お伝えしたいことは表記の揺れをご検討して欲しいということで、町ではで多分「町」の方が読まれるのはわかるが、文章として

は、書けるところは「広陵町」の方がよいのかなという風に、「広陵町」という表記統一に1票というところがある。あとは表現のところ、枠を消して欲しいとお伝えしたが、絶対直して欲しいというのが、8ページ目のSDGsのロゴで、これはSDGsのサイト見ていただいたら、縦横比これで使ってくださいというルールがあって、勝手に潰してはいけないと思う。近くの文章を改行したり、隣に行かせてもよいので、規定の縦横比に合わせて表記していただかないといけない。これは多分、このページに入れるために、細長くされていると思うので、これは再表記して欲しい。

あとは枠を消してくださいお伝えしたが、9ページ目の柱状と折れ線グラフについて、ここだけ左の第1軸「%」が全部付いているので、前のところと合わせて「%」というのに関わっているとともに、多分、前回第2軸のご指摘があって、赤字と単位容積あたりkgパー立方メートルがこの0から250だと思うが、そうであるならば下じゃなくて、どこが適当な場所にその軸の説明が必要で数字がないっていうご指摘で2軸を出されたと思うが、その単位が何なのかっていうところがよりわかりやすくなるように、場所の移動と統一を最後の方がよいと思う。

先程指摘させていただいた11ページの方の図の方も不燃、粗大、リサイクルごみのところは線が残っているので、ここも消された方がよりわかりやすいと思う。

(会長)

SDGsの図のところ決められた規定がある。

(部長)

過去に確か国連事務局に電話して確認したことがある。おっしゃるとおりで、これから変えたらいけないと言われた。

(会長)

今度から訂正をしておいて欲しい。それからグラフのところの折れ線グラフだとか単位の%とか、そういったところもチェックしていただきたいと思う。また、住民・事業者・行政のところ、点にするか、括弧にするか、カギ括弧に入れるかどうか、ここはとにかく統一をしていただく。11ページのところにもあるが、出ている図の線、これはできるだけわからないようにカットしていく。それ

から、広陵町という表現が、町あるいは町という表現があり、これも全体的な統一をしていただきたいというようなご指摘があり、これは是非直していただきたい。

(委員)

9ページの赤字の一番下で、「生ごみをよく水を切って」の「を」が続くので、「生ごみはよく水を切って」の方が良いかなと。それが一点と、もう一点、11ページの上から2行目、私だけが引っかかるのか、収集経路が増加することとなるが、1人暮らしの高齢者や障害者を始めごみを出すことが困難な住民、一人暮らしの高齢者や障害者が、みんなこんな状態かと取られ兼ねない。もう取ってもよいのかなという風に思う。増加することとなるが、ごみを出すことが困難な住民と言って、よりわかりやすく説明しているつもりでも、解釈によっては微妙なところかなと思った。

(会長)

事例はなくして、「なりますが、困難な住民の」というような形で表現しておいた方がよいのかなというご指摘であった。これもちょっと是非変更をお願いしたいなと思う。

ご指摘のように6番目にしても、この最後のその表題の部分は最後の方に、以上なのでこういったところをお願いしますとか、こういったような形の中でももう少し表題は、短くわかりやすく、表現された方がよいのではないかなと思う。

(委員)

冒頭の1段落目、広陵町の指定ごみ袋価格はってことでまた新たな「本町」という表現が出てきているので、「広陵町」をご使用いただくとともに、多分これコピーだと思うが、~~書いて~~書いていうのが他のところだと、横に並んでリットルというふうに、例えば本文中の中ほどでも1リットルということになっているので、表記を整えていただくということで、このページの中段にあるようなリットルというふうに直された方が読みやすいのではないかなというふうに感じた。

ここも「町は」という表現もあるので、ちょっと全体を通じて「町」か「広陵町」かどちらかの表記に統一をお願いしたい。

最後のところにもお伝えしたかったが、委員の方からも出ていたので、せっかくごみ袋の話が出ているので、ごみ袋で有料化して減量化を目指すということよりも、一步踏み出してほしい。ごみ袋自体も環境配慮型の方に変更していくという、先程のプラごみ削減がCO2削減に繋がるってというような貴重な情報提供・ご意見もあったので、個人的に最後に書いて欲しいのは、再度、後程お伝えしたいと思うが、ごみ袋のところ、もう一步進んで、更に環境配慮型の意識の醸成、それから実際具体的な取り組みに繋がる検討をしていくというようなことを、急には無理だと思うが、段階的に、いろいろな書きぶりを盛り込まれる余地があるかなというふう感じた。

(会長)

リットルの表記の統一、から本町、町、広陵町、こういったところの統一お願いしたい。

それから分別をしながら、ごみの減量、そして環境への配慮を考えるのであれば、ごみ袋そのものを環境配慮型ごみ袋で考えているとか、そういう方向で、少し前向きな形で従来の石油系のものでなくて成分改質を行ったプラスチックを使ったようなごみ袋をこれから検討していきたいというのも一つの前向きな姿勢になると思うので、そういったような表現したらどうかというご意見であった。

結びのところが最後14ページのところ、これは最後のまとめで、もう少し後でもいいのかなと思うが敢えてここで赤字で示されているので、このところ、結びという表現するかどうかも含めて、一つのまとめの的なところであるが、何かお読みになって感じるころがあれば、ご意見を出していただければと思う。

(委員)

最後結びで町民の皆様と共にとというのはフレーズなのかなと思うけれども、その中頃に「3点について再度審議会を開き」というのはお久しぶりということだと思うが、再度というのはどうかと感じたところである。

「今後の」というところで、地域の住民の関わる地域事業者の方も含めてみんなでクリーンなまち広陵を目指していこうということで、ここでの議論はそのごみの量を減らすっていうことに注意していたけれども、その量を減らす、次の段階として、環境にも配慮していくというご意見もあったし、量を減らした後は、質の問題だと思う。だからその質、例えば、そのプラごみを減らすような

何か心がけをしていただくとか、今までお金の話と量の話でずっと終始しているけれども、本当はその先には地域全体の環境配慮であるとか、質といったようなものを、どんなもので出すかといったようなことも最後は謳ってもよいのではないかと思う。行き着くところ、質という話になると、生活の仕方とか、その生活の仕方が変わればその地域も変わるし良くなるというところに繋がっていくと思うが、お金がかかっているので、やっぱりそのごみ量でお金が変わると、減らしたらもっといろいろ使えるという話が出てきて、ずっと量を減らすには水を切ったら良いとかということで、ずっと来ているけれども、やはり環境配慮とともに、質についても、次の段階として検討する余地があるのではないかということが、最後にあれば、これは結びになってくるので、町としてはそうことを地域の住民の事業者も含めた皆様と頑張っていくというアピールをしてもよいと感じた。

(会長)

結びであるから要するに今後のことである。

環境に対する配慮は確かに身近なところで見えてくるお金だけではなくて質的なその環境配慮で、先程のごみ袋にしても、例えば生分解性プラスチックの方が高くなる。

高くても質を取るのか、安いから石油系のみにするか、選択はいろんな場合が出てくると思う。もう少し質というところ、環境に対する配慮してきた質、深く質を深めていくことを求めるような部分も、結びのところには入れておいた方がいいとは思ふ。

「再度」というところ、最初の1ページのところに、「再度」の関係しているところは実は私がチェックの数が多かった。上から3行目、「近年は」とありますが、「は」はいらないと思う。「近年、ごみの減量と資源の有効利用のためについて」でよいと思う。

四つの説明がある。その最初の文章はそれで終わるが、その次の広陵町ごみ減量等推進審議会が先程の「再度」と絡んでくる。というのはそのまま読んでいくと、広陵町ごみ減量等推進審議会が、平成10年に設置された。今の審議会が実は同じ審議会というような意味合いが感じ取れる。そこで、最後の審議会で「再度」とあったが、それをもう少しわかりやすくするために、「平成12年に設置された広陵町ごみ減量等推進審議会以下、審議会という」は、「広陵町における一般廃棄物の排出抑制、分別収集の徹底、資源ごみのリサイクル等、ごみの減量化資源化に関する事項等について審議しました。」ということで、10年余り前の審議会はこういう形で平成10年に設置され、これが最初

の審議会で、同じ名称の審議会をややこしいことがある。名称が違っていれば、全く違った表現でよいが、同じ審議会の名称なので、ここで先程最初に「再度」ということもあって出てきたと思うが、「前回の審議会はこういうことを示しました。広陵町はその答申を踏まえて、平成19年のクリーンセンター広陵稼働に合わせて、ごみ処理を有料するなどの対策を講じたところ、町民の理解と協力を得て、可燃ごみの減量に一定の効果を見出すことができたが、令和4年3月18日をもってクリーンセンター広陵が操業停止するにあたって、広陵町議会町議会において、当審議会、これまでのごみ減量等推進審議会の再開を求める決議が可決された」という形で、「前回の審議会は、こういうようにした。広陵町はその答申を踏まえて、今回の審議会を開いている。」というような流れの方が良いと思う。

最後の文章、「決議では、これまでのごみ減量に向けた取り組みや行動計画等への評価とその効果を明らかにし」について、この場合の評価、効果はどこが違ってくるのか、同じような意味合いではないかと思う。

厳密には違うかもわからないけど中身は同じなのではないかと。評価は、その結果で効果も表現すると思う。そのところ、同じような表現が出ているので、少し調整した方がよいのではないかと。ということで、しっかりと前回の審議会はこうでした、今回は、こういう状況の変化の中で、こういうことを目的に意識しますというのが始めのところに出てきて良いと思う。

クリーンセンター広陵が操業を停止するにあたって、そういうところではっきりと以前の審議会と今の審議会が違いますといったところをはっきり示しておいた方が良いと思う。

(委員)

12ページ一番下の行について、赤字の次の、ごみ処理の広域化がスタートしたことによるって表現がある部分について、カタカナでなければ表現できないもの以外は、基本的には英語は使わない方がいいと思うので、何か開始したとか、言い換えて考えていただいた方が良いと思う。

(会長)

敢えて「スタート」ということは確かにわからなくはないが、もう少し全体の流れの中で、「始めた」とかというような日本語の方が、良いのではないかというご指摘である。

私達というか住民と行政、そして今回は会社の事業者の方々がご欠席されているけれども、そういった事業者との関係性を、SDGsの番号に当てはめながら、表現しているのは面白いなと思っているので、こういったような形も含めて、文章化されている中に可能であれば、図とか表とか、より補足してわかりやすくなるような表現方法を考えていただければありがたいと思う。

(委員)

別紙3はすごくチャレンジングな図であると思うけれども、通常このような図が出てきたときに、線の太い、細いで何か意味があるのか。赤の矢印が太いものと細いものがあるが、それはその何かレベルは違うものなのかどうかというところと、太い方がより積極的にやってほしいとか、何か意味のある太い細い区分であるのかどうかということをした。右側に太い赤い右に向かっている矢印があると思うが、矢印は補助的なものなので、文章、図よりも何よりも矢印が目立っているというのは、良なくて、目立たせるものは他にあると思うので、ご検討いただいた方がよいと思う。四角の図の中のルールについて、右側の住民というところに「ごみ減量に向けた実践できる基盤」と書いてあるが、2行にするなら、ひと続きの言葉が切れないように改行を加えていただいた方がわかりやすいと思うし、この「事業者」と書いてある「お兄さん」の横の位置についても、センターリングで表現されているが、このごみ減量に向けた住民・事業者・行政役割相関図の下にある位置にあるものは、左寄せになっていたりと、多分目立たせたいところは、真ん中のオレンジの赤字の「三者共同で徹底した資源化に寄与する」というところであると思うが、この色とこの囲みでは少し目立たないと思うし、住民の代表は、多分見たところ中年の女性で、行政は中年の男性で、事業者は宅配のお兄さんという代表的な表現は今のインクルーシブとか、多様性というものを全然無視していて、すごい固定概念化されているというか、間違った固定概念化を促しはしないかということで、今風の表現であれば、いろんなタイプの人が並んでいるもので表されていると思う。ジェンダーとか、年齢とか、ステレオタイプを載せてみたという感じになってしまっていて、少し残念な感じがするが、このあたりは、むしろその市民の皆様にご意見を伺った方がよいのではないかと考えた。

(会長)

この3者が交わる部分、実はここが非常に大事と思うが、交わる部分が小さい。大きくなってこそ、期待するところだろうと思う。小さくて見えないところにオレンジの背景にした表現というのは、

やはり強調を強く推したいという部分がいろいろあり、そのことによりバランスがやや取れてない。その中ではっきり言えることは、「行政」の役割が大きい。

項目が多いのは仕方ないにしても、もう少し黄色の枠で囲った住民、業者との間で、項目も簡素化する中でもう少しバランスを考える。円のバランスも考える。さらに、矢印の示し方、この矢印はこういう矢印であると説明できるように、太くても長くても細くても、点線でも良いが、強調したいところは強調したい。

赤の矢印の太いのは、実は3者の減量というのは、SDGsの項目8つがここには示されているということで、SDGsの項目17のうちの8、ほぼ半分が関わっていますよということであろうと思うが、要はここで強調されるのは中身の図であると思う。そしてよりわかりやすい形で、文章も3行、4行、5行になっているものもぐっと短くして太くして、強調したり、線など太くするとか、また色のバランスも、ぱっと目を引くものが一番よい。

中心のところは皆さん3者共同で、まさにパートナーシップの共同でごみ問題は考えていかなかないとならないというところが、ある意味重要なポイントであろうと思う。

(委員)

この緑と黄色は厳選されるとよいと思う。その格好で入れている部分もあろうと思うし共通部分も多いと思う。もしこの緑と黄色を絶対入れたいとかっていうことであれば、それぞれの取り組みの内容示した表等を違うところに作っておいて、そこで見せることもできるし、多分これ盛りすぎだと思う。SDGsが7個ぐらい並んでしまうと、もう多分見えないと思うので、それでもやはり代表的なものは残したいということであれば、せめてSDGsのマークとか文章の上に線が走らないようにして欲しい。これはご法度であり、SDGsの文章の上に線を走っているものも見当たるのでこの辺は少し表現を工夫されると、更によりものになるのではないかと思うし、各項目の点というのは、複数項目であれば点をつけるが、1個だったら別に点を付けなくてもよいというルールだと思うので、その辺り工夫するともう少し大きくできるのかなとか、今、スペースに合わせて四角の大きさを、正方形に近くしたり、縦長にしたり、横長にしたり等しているが、その四角の大きさを統一するだけでもすごく見やすくなるのではないかと思うので、少し工夫して、取捨選択・交通整理が必要ではないかと感じた。

(会長)

以上、今日、事前に配布されていた資料に基づいて議論をさせていただきました。時間になったので次回もご検討いただいている案に基づいて、またさらに前向きに審議会の議論を進めてまいりたい。

4 その他 次回開催日の日程について

(会長)

最後に、その他として事務局の方からお願いします。

(事務局)

次回5月のゴールデンウィーク明けを考えている。今回事業所の方々が来られていないので、事業所の方の予定を確認しながら、開催日の方を決定させていただきたいと思っているので、よろしくをお願いします。

また日が決まったら、1か月前にご案内させていただくので、よろしくをお願いします。

(以上)